

あなたと議会のふれあい誌 伊奈町

第208号

議会だより

◆議会構成…P2

◆議案概要等・審議結果…P3・5

◆常任委員会概要…P4

◆一般質問…P6～13

令和7年 6月定例会

伊奈中学校の脇にある「英霊の塔」。
ここには、西南の役より太平洋戦争までに、伊奈町から雄々しく門出され、国家の礎石として散華された217の御霊が眠ります。(町史資料調査報告書より)

世界では様々な紛争が勃発しています。
今、この瞬間も戦火に苦しむ人がいます。
終戦の日のある、この8月。
世界の平和について、少し考えてみませんか。

議会構成が変わりました

議長・副議長選挙が行われ、議会構成と行政委員が変わりました。

議長就任あいさつ



上野 尚徳 議長



青木 久男 副議長

二元代表制のもと、議会は町民の皆様
の立場で、町の行財政運営のチ
ェック、監視、提言を行い、政策の
最終決定を行う極めて重い責任を持
つております。その責任を16人の議
員全員でしっかりと果たして参りま
す。私自身、議会の代表者としての
職務が全うできるよう、誠心誠意、
全力でつとめて参ります。

激動する社会情勢の中、町民の皆
様のニーズも多様化し、また、人口
増加を続けてきた伊奈町でも少子高
齢化など様々な課題が生まれ、同時
に新庁舎や新ごみ処理施設の建設
等、この先の町の財政を左右する大
規模事業が連続することになりま
す。これら様々な事案に対し、議論
の多様化と議論を深化させる体制を
構築し、同時に時代の変化に対応し
た議会へとブラッシュアップも行っ
ていきたいと考えております。
引き続き伊奈町議会への御支援、
御協力を賜りますよう宜しくお願い
いたします。

総務建設産業常任委員会



(後列左から) 武藤倫雄、戸張光枝、山野智彦、川内雅人
(前列左から) 上野尚徳、藤原義春委員長、仲島雄大副委員長、五味雅美

議会運営委員会



(後列左から) 富井篤弥、川内雅人、栗原恵子、高橋まゆみ、仲島雄大
(前列左から) 大沢淳、山野智彦委員長、戸張光枝副委員長、藤原義春

新庁舎建設特別委員会



(後列左から) 仲島雄大、武藤倫雄、山野智彦、高橋まゆみ、木俣美千代、富井篤弥
(前列左から) 佐藤弘一、青木久男委員長、川内雅人副委員長、大野興一

文教民生常任委員会



(後列左から) 木俣美千代、大沢淳、大野興一、富井篤弥
(前列左から) 青木久男、栗原恵子委員長、高橋まゆみ副委員長、佐藤弘一

物価高騰対策緊急支援

予算額 **1,582万円**

価格高騰対策緊急支援給付事業

事業対象	内容	予算額(千円)
1 障害福祉事業所等	業務形態ごとに一定額を支給	2,778
2 介護事業所等	業務形態ごとに一定額を支給	4,578
3 こども食堂	3施設に均等に給付金を支給	75
4 水稻農家	害虫の広域防除補助として農協に支給	265
5 給食センター	2・3学期の主食購入額相当分を支給	8,125
合 計		15,821

国の決定により物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が交付されることとなり、町では、左表の5つの緊急支援給付事業を行うこととなりました。

6月定例会は6月3日から6月17日まで15日間開催されました。町長提出の諮問1件、報告1件、議案9件（うち2件は専決処分承認を求めるもの、1件は最終日提出の物価高騰対策給付に関するもの）および議員提出の条例1件（議員の請負の状況の公表に関するもの）が審議され、それぞれ原案可決となりました。

- 問** 水稻農家支援は誰に給付するのか。
- 答** JA埼玉である。
- 問** 給食センターへの支援は誰が受取るのか。
- 答** 町で受取り、給食会計に充当する。
- 問** 給食予算は不足か。
- 答** 今のままでは不足することから、2、3学期の主食購入額相当分を支援対象とした。
- 問** 予算全体で町負担額が合計で約158万円あるがこの目的は。
- 答** 国庫からの交付額約1424万円に町からも拠出し、給付額の上乗せを図ったものだ。

議会議員の請負状況の公表

事業を経営しながら議会の議員となる者がその自治体から仕事を請け負うことは、利益誘導になるために原則として地方自治法で禁じられています。しかし近年議員のなり手不足が全国で問題となっていることから、その対策として、個人事業で各会計年度300万円を超えない者は規制の対象外とされることに法改正されました。

それに伴って、請負の状況の透明性を確保し、議会運営の公正を図るために、公表条例を制定したものです。



町国民健康保険税 課税限度額の引上げ

国民健康保険税の課税限度額のうち、医療分の基礎課税額が65万円から66万円に、後期高齢者支援金等課税額が24万円から26万円にそれぞれ引き上げられます。また保険料軽減対象者の所得が1万円から1万5千円増え、枠が拡大しました。介護分は変更ありません。医療保険制度では、保険料負担は、負担能力に応じた公平なものにする必要があります。

が、受益との関連において、被保険者の納付意欲に与える影響や、円滑な運営を確保する観点から、被保険者の保険料負担に一定の限度を設けています。この保険料負担の上限の引き上げは、高所得層により多くの負担を頂くこととなりますが、中間所得層の被保険者に配慮した設定でもあります。

本年4月1日からの施行です。

常任委員会レポート

町長提出議案を総務建設産業常任委員会では5件（6月6日開催）、文教民生常任委員会では1件（6月9日開催）審議しました。

総務建設産業

所管事項 一般会計の歳入全般、行政施策の総合企画調整、行財政運営、情報公開、職員、交通安全、防犯、防災、町税の賦課徴収、住民相談、消防、救急、農業、商工業、区画整理、道路河川、公共下水道、水道事業、建築関係

コロナウイルス予防接種健康被害救済制度

問 国庫支出金交付までのプロセスは。

答 町で検討委員会を設置し、県から国の審査委員会に進達され、接種歴、既往歴等を総合的に勘案し認定される。

社会資本整備総合交付金

問 町内視察した町道の土木費国庫補助金交付率低下の原因は。

答 全国的に要望件数が増加したことで低下した。

出納管理事務費システム改修業務委託料

問 その内容は。

答 納入済通知書情報データをデータ化し、賦課側で処理する際のデータ作成である。

消防施設整備事業

問 会計年度任用職員増員の理由は。

答 北部消防庁舎建設の本格的業務稼働に向けた増員である。

防災用資機材の購入

問 地元事業者への積極的発注を前提とした分割発注の余地はないのか。

答 庁内業者選定委員会での結果より、分割発注は経費がかさむので一括発注とした。今後検討する。



拡幅改修工事が行われる町道第1312号線

文教民生

所管事項 町民の諸証明、国民健康保険、介護保険、医療、予防接種、各種検診、社会福祉、児童福祉、母子福祉、保育、子育て支援、人権、環境衛生、学校教育、社会教育、生涯学習、学校給食関係

ごみ広域処理施設整備事業

問 新設改良測量設計等委託料1005万3000円について、町道106号線拡幅工事に伴い歴史的な景観への配慮はどうか。

答 どのように保存していくかを地元とよく話し合っている。

各種予防接種実施事業

問 带状疱疹ワクチン定期接種の自己負担額が生ワクチンは4700円、不活化ワクチンは1万6700円となるが、病院によって金額は異なるのか。

答 今回のワクチンは話し合っている。



上尾伊奈ごみ広域処理施設に関わる地域振興策協定書の締結にともない、拡幅工事をすることが決定された柴中荻区内の町道106号線

生と不活化の2種類しかなく、それぞれ1種類ずつのため、金額は同じである。

問 予防接種健康被害給付負担金について具体的な説明を。

答 コロナワクチン1回目、2回目に該当する方で、令和3年の4月に接種された方がお亡くなりになられ、申請を受けた形で認定が下り、死亡一時金4420万円、葬祭費に係るものとして21万2000円、合計の4441万2千円の計上となっている。

問 ほかに申請をされている方の人数は。

答 今回の事例を含め4件。死亡事例が2例、障害、後遺症が2例だ。

〈6月定例会〉 議案一覧及び審議結果

議案番号等			議案名等と主な内容	審議結果	
町長提出	人事	諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて ・人権擁護委員の山本正美氏の任期が令和7年12月31日で満了となるため、引き続き同氏を推薦することについて意見を求める。	全会一致	適任
	専決処分	第29号 議案	専決処分の承認を求めることについて（伊奈町税条例の一部を改正する条例） ・地方税法等の一部改正により、軽自動車税種別割の規定及び長寿命化に資する大規模修繕工事を行った一定のマンションに係る固定資産税の減額措置の規定を新設。	全会一致	承認
		第30号 議案	専決処分の承認を求めることについて（伊奈町国民健康保険税条例の一部を改正する条例） ・地方税法施行令の一部改正により、国民健康保険税の課税限度額の見直し及び低所得者の保険税軽減措置の対象を拡大するための軽減判定所得の引き上げ。	全会一致	承認
	補正予算	第31号 議案	令和7年度伊奈町一般会計補正予算（第2号） ・歳入歳出各6,495万2千円を追加し、補正後総額を155億1,127万9千円とする。歳入では、衛生費負担金の地域振興策上尾市負担金、国庫負担金の予防接種対策費負担金、国庫補助金の新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）、障害者総合支援事業費補助金、県補助金の保育所等物価高騰対策給付事業費補助金、県委託金の参議院議員通常選挙委託金、財政調整基金繰入金及び町債の増額、国庫補助金の社会資本整備総合交付金（狭あい）の減額。歳出では、システム改修委託料、投票管理者等の報酬、価格高騰対策保育所等緊急支援給付事業、新型コロナウイルスワクチン接種後の健康被害救済制度認定等に伴う事業、ごみ広域処理整備事業の地域振興策による町道第106号線拡幅予備設計業務、北部消防施設建設の本格稼働等対応のための人件費の増額。	全会一致	原案可決
	条例	第32号 議案	伊奈町職員の育児休業等に関する条例及び伊奈町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 ・育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の施行により、子の看護休暇の対象者の拡大及び介護離職防止のための仕事と介護の両立支援策の強化としての研修の実施や相談体制の整備等の措置を講ずる。	全会一致	原案可決
		第33号 議案	伊奈町特別職の職員で非常勤の者等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 ・国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正により、選挙長や投票所の投票管理者、投票立会人等の報酬額を国の基準に合わせる。	全会一致	原案可決
	財産	第34号 議案	財産の取得について（防災用資機材等） ・防災用資機材等の取得について、指名競争入札の結果、株式会社サイボウと6,832万9,800円で物品売買契約を締結。	全会一致	原案可決
		第35号 議案	財産の取得について（消防ポンプ自動車（CD-I型）） ・消防ポンプ自動車（CD-I型）の取得について、指名競争入札の結果、埼玉消防機械株式会社中央支店と2,585万円で物品売買契約を締結。	全会一致	原案可決
	人事	第36号 議案	監査委員の選任について ・地方自治法第196条第1項の規定により、議会議員のうちから大沢淳氏を選任することについて同意を求める。	全会一致	同意
	補正予算	第37号 議案	令和7年度伊奈町一般会計補正予算（第3号） ・歳入歳出各1,582万1千円を追加し、補正後総額155億2,710万円とする。歳入では、国庫補助金の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、財政調整基金繰入金の増額。歳出では、価格高騰対策として、障害福祉事業所等、介護事業所等、こども食堂への給付金、農家のイネカメムシ対策として農業協同組合への補助金、学校給食の主食高騰分に対する補填のための増額。	全会一致	原案可決
議員提出	条例	議第2号 議案	伊奈町議会議員の請負の状況の公表に関する条例 ・地方自治法の改正により、議員個人による町との請負に関する規制が緩和されたことを踏まえ、請負の状況の透明性を確保し、議会運営の公正及び事務執行の適正を図る。	全会一致	原案可決

（注）全会一致のため議員ごとの賛否の表示は省略します。

一般質問

そこが
聞きたい



13人が登壇

議員が町政全般または特定の事項について、町の見解を問い質します。6月定例会では、13人の議員が質問しました。下記は本会議での質問事項を掲載しています。7ページから13ページには、主な質疑応答を質問した議員が要約して掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、図書館にある会議録および、伊奈町議会ホームページの会議録や録画でご覧になれます。

ページ	質問議員	質問事項
7	大沢 淳	● こども誰でも通園制度の本格実施に向けて ● 学校の水泳授業と温水プールの整備 ● 公共施設や小中学校のトイレへの生理用品やサニタリーボックスの設置
7	大野 興一	● 米価の安定のために ● 県道蓮田鴻巣線の買収・工事の進捗状況は ● 小中学校の通学路に時速30キロメートル規制はできないか
8	武藤 倫雄	● 国民健康保険税の収納率について ● 町のにぎわい創出調査結果について ● 仮囲いの規制について
8	仲島 雄大	● 防犯カメラに対する町の姿勢について ● 財政健全化に寄与するフレイル予防について
9	戸張 光枝	● 即応性向上のためにインフラ維持管理の包括委託を ● 独居高齢者に寄り添う支援、シルバーコール事業の実施を ● 民生委員の担い手確保や活動環境整備に向けた県補助事業の活用について ● 児童・生徒・教職員等の命を守るため学校への不法侵入防止の強化を
9	藤原 義春	● デマンドタクシーに切り換えることについて ● 学力向上の取組について
10	青木 久男	● 安心安全の町づくりについて
10	川内 雅人	● 給食センターの設備と労働環境について ● 農業の継続的発展と町民との共存について ● 先端技術の導入について ● 空き地の雑草処分について
11	富井 篤弥	● 交通事故ゼロの伊奈町を目指して ● 食材費高騰の中でも安心安全な学校給食の提供を
11	木俣美千代	● 出生届をオンライン化に ● 多文化共生社会を目指して ● 子どもの発達障害の早期発見と大人になっても切れ目のない支援の強化を
12	高橋まゆみ	● 平常時から非常時まで安心してらせる住民第一のまちづくりを ● ごみ広域処理施設整備と周辺環境の整備について
12	五味 雅美	● 不登校の要因にマッチした支援を ● 被爆体験の継承事業を ● 特定健診の通年実施を ● 国勢調査の取組について
13	山野 智彦	● 国民健康保険税の負担増の原因と対策 ● こどもの予防接種の実施状況と改善点 ● 小・中学校での「主体的、対話的授業」への懸念 ● 人生を豊かにする生涯学習の拡充を

こども誰でも通園制度



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

問 この制度は、働いていなくても時間単位に保育サービスが利用できる。町内の対象施設は。

答 保育所や幼稚園など23ヶ所。現在参加するかどうか意向を確認している。

問 保育士の確保は十分か。

答 保育所等に確認したところ、さらなる保育士の確保は難しいとのこと。

問 他市での試行的事業での課題は。

答 保育者の意見として



設置後50年以上経過する伊奈中学校のプール

て「業務の負担が増え、こどもと向き合う時間が減っている」と感じているとのこと。

問 小中学校のプール授業

答 水泳授業の課題は、①天候に左右される②教員の配置や設備の維持管理のための人員確保③施設、設備の老朽化対策などがある。

問 事故防止や安全に関する指導は重要。着衣水泳は。

答 小学6年生で実施している。

問 トイレへの生理用品の設置

答 公共施設のトイレへの設置は。

問 設置していない。他の自治体の事例を調査したい。

答 小中学校の設置状況は。

問 7割のトイレで設置している。

米価の安定のために



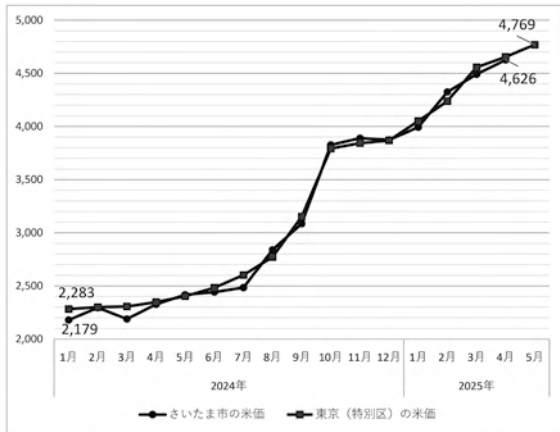
おの こういち
大野 興一 議員

問 米価高騰が続く原因は何か。

答 一般家庭の買いだめ、訪日外国人旅行者による需要増、投機目的での大量買い占めで米不足になり、卸売業者が業務用向けを店頭向けに切り替えられず

問 価格の高騰が続いた。政府の政策の構造的な問題はないのか。

答 町は「耕作条件改善事業」による水田の区画拡大や「多面的機能支払金」による農地の保全活動に国の補助金を活用している。今



米価高騰は減反と市場任せ政策の結果であり、生産者保護と消費者への安定的供給に政府が責任を持つ政策に転換するべきです

後も国の施策に基づき農業振興を進める。

問 買収・工事の進捗状況は。

答 バイパス伊奈中央線650メートルは、県道上尾環状線接続部の一部に仮舗装工事を実施している。

問 その工事の今後の予定は。

答 県道上尾蓮田線と町道第21号線との交差点で、埋蔵文化財の発掘調査を行い、調査完了後、交差点部の道路改築工事に着手する。

問 通学道路の速度規制を

答 通学路に時速30キロ規制はできないか。

問 来年9月から、近くに学校があるような生活道路では、速度標識が無い場合は30キロ以下に制限される。

国保税の未納率5%



むとう みちお
武藤 倫雄 議員

問 未納による不足分は国保税の決定にどう影響しているのか。

答 未納分が増加するほど国保税の税率が上昇することになる。

問 外国人の国保税収納率が全国的に低いとの報道があったが当町の状況はどうか。

答 令和5年度で65・7%である。

問 まじめに納付している者に未納不足分を上乗せされているのは理不尽だ。悪質な未納者には厳正な対応をすべきと思うがどうか。



にぎわい創出が待ち望まれる「伊奈中央駅」

答 納税者の税の公平性を確保するため厳正に対処していく。

町のにぎわい創出調査結果を受けて

問 志久・丸山駅周辺は市街化調整区域である。都市計画変更について町の意向はどうか。

答 困難な状況である。

問 住環境や景観に影響を与え、中が見えずに不安を感じるものもある。それらに対する規制などはあるのか。

答 当町にはない。

問 川口市のような条例の制定や都市計画の中で明確にしていくことが必要ではないか。

答 住環境等に様々な配慮をすることが望ましい。現状を把握するとともに川口市等を参考にしながら慎重に研究・検討していく。



防犯カメラに対する町の姿勢



なかじま ゆうた
仲島 雄大 議員

問 防犯カメラ設置場所選定は、犯罪件数、通学路、人通り、過去の不審者情報等のリスク評価手法を用いているか。また、客観的な指標に基づくロジックがあるか。

答 設置場所は、ニューシャトル駅及び小学校通学路等である。小学校通学路は、教育部局と連携し選定している。客観的に基づくロジックについてはない。

問 カメラ運用等にあるか。

予防の投資効果（医療費・介護費、労働力、消費）について（試算結果概要）

予防を行った場合の2034年の60歳以上の医療費・介護費※2への影響

	試算結果
生活習慣病（一次予防）	130億円↓（医療費）
生活習慣病（二次・三次予防）	620億円↓（医療費）
がん（一次予防）	360億円↑（医療費）※3
フレイル・認知症（一次予防）	320億円↓（医療費） + 3.2兆円↓（介護費）

※1 労働力・消費の出典：『経済産業省平成27年政策評価事業（日本経済の中長期変遷とリスクに関する調査）』
65・74歳の高齢者が現役世代並みに働き、75歳以上の高齢者が65・74歳並みに働くと仮定した場合

※2 介護費については、アルバイム認知症の一次予防を行った場合について、試算を実施

※3 がん一次予防は2034年でがん患者を約4万人程度減少させるが、その他疾患に関連した医療費が増加するため、全体としては増加

（参考）現状維持した際の60歳以上の医療費・介護費の推計結果
医療費：2013年：約19.5兆円 → 2022年：約20.8兆円 → 2034年：約21.5兆円 → 2046年：約20.0兆円
介護費：2013年：約1.6兆円 → 2022年：約12.5兆円 → 2034年：約14.5兆円 → 2046年：約13.8兆円
・医療費・介護費の増減率は、インフレや技術進歩による増加率（医療費では過去1～3%程度で推移）は含まない。増減率は年率2%で増加した場合、20年後には約1.5倍に増加。

出典：『経済産業省におけるヘルスケア政策の策定について』より抄録

予防による削減効果
①医療費 320億円
②介護費 3.2兆円

たり町民のプライバシー保護は極めて重要だが、どの様に配慮されているのか。

答 犯罪抑止との兼ね合いと共に、プライバシー保護には十分配慮する。

財政健全化に寄与するフレイル予防

問 フレイル予防を健康施策と財政運営戦略の双方に明示的に位置づける方針はあるか。

答 総合振興計画の基本目標のひとつに取組を明示している。

問 フレイル予防への投資が、将来的にどれほどの介護費用削減効果を見込めると考えるか。

答 試算はしていない。国や関係機関データなどを参考に、将来の介護費用の削減額について研究する。



即応性向上のために インフラ維持管理の包括委託を



とばりみつえ
戸張 光枝 議員

問 先進自治体が導入しているインフラの包括管理方式は平時や災害時に即応性が図られている。期待できる効果と導入の可能性は。

答 市民サービスの向上やコスト増大の抑制等を目的としており昨今の地方自治体の行政

における課題を挙げ各所管課による縦割り業務を乗り越え全庁的な視点の体制整備が必要である。直近での導入は難しい。

独居高齢者に寄り添う支援

問 事前に登録した高齢者に対し職員や委託事業者等が定期的に電話をかけ、健康状態や生活の困りごとを確認し、異変の早期発見や孤独死の防止となる実効性のあるシルバーコール事業の実施は。

答 ICTを利用した先進自治体の事業など外部委託も含め研究する。

民生委員の活動環境整備

問 検討中の施策は。
答 民生員協力員制度の導入を検討中である。



単身高齢者に寄り添いの支援策「シルバーコール事業」の展開で認知症予防や不安解消、孤独死防止を

デマンドタクシーに切り換えを



ふじはらよしはる
藤原 義春 議員

いなまるの収支
問 いなまるの収支状況は。

答 令和6年度は、運賃収入69万5200円、運行業務委託料3928万905円だ。

問 令和6年度は、運賃収入69万5200円、運行業務委託料3928万905円だ。

問 いなまるの運行について、検討・分析の内容は。

答 確かそうだが、高齢者にとっては、貴重な交通手段だ。

検討・分析の内容

問 いなまるの運行について、検討・分析の内容は。

答 現行の循環バスを増便させ、更なる充実を図るのが、第一案。AI活用型オンデマンドバスに置き換えることが、第二案。現行の循環バスとAI活用型オンデマンドバスの併用を行うのが第三案。現在、検討を進めている。

同じような予算

問 同じような予算で、少数の利用者がいる「いなまる」の運行と多くの町民が満足するデマンドタクシーを比べると、「いなまる」は税金の無駄遣いと思うが、どうか。

答 「いなまる」は、以前は老人福祉センターの送迎バスだった。より多くの人に利用してもらえる方策を検討している。



運行が検討される「いなまる」

防火井戸（非常用井戸）の状況把握を



あおき ひさお
青木 久男 議員

問 自警消防団由来の防火井戸（非常用井戸）は適正に管理され、安全の確保はなされているのか。

答 平成14年度末の自警消防団解散に伴い、

翌年度に限り防火用井戸の改修に補助金支給制度があった。その後は各区の自主防災組織の管理に移行している。

問 その際に、改修または改修されず現在に

至る井戸はいくつか。
答 文書保存年限が過ぎていたため確認できない。

問 撤去されたものはいくつか。

答 当時の消防本部から引き継いだ非常用井戸配置図によると、防火井戸の総数は143基で現在町が把握できている撤去数は8基である。

問 非常用井戸として適切に管理されているのは少数派で、草や土に埋もれたままで危険性のあるものも多々あるのではないかと。町でも状況を把握したらどうか。

答 移管されて20年以上が経過している。管理状況も様々なものと思う。安全管理の周知方法については、今後研究していく。



築31年を経過した給食センターは、設備の老朽化が…

給食センター、農業との共生、先端技術導入、空き地の雑草処分



かわうち まさと
川内 雅人 議員

給食センターの設備と労働環境について

問 設備老朽化に伴う修繕計画は。

答 定期点検の結果を踏まえ適切に対応する。

問 労働・公務災害申請説明会の実施は。

答 説明会実施はないが申告の如何を問わず申請を確認している。

農業の継続的発展と町民との共存について

問 不要になった用水路の整備は。

答 途中での堰止めは

できないため、農業者と協議のうえ決定する。

問 営農型太陽光発電の導入は。

答 採算性・継続性を含め、慎重に検討する。

先端技術の活用

問 町主導での高齢者向けVR教室はどうか。

答 今後の健康維持増進事業のひとつとして研究していく。

問 AI導入による業務削減効果は。

答 町HPでのARI活用により、年間90時間程度削減できた。

空き地の雑草処分

問 町として改善のため検討していることは。

答 土地所有者催告書などを発送する際、放置によるリスクのチラシを作成し、同封する。

上尾消防とも連携していく。

より安心安全な学校給食を！



発達障害の早期発見と 切れ目のない支援を



とみい あつや
富井 篤弥 議員

- 問** 学校給食の更なる改善のため、児童や生徒、保護者に対し学校給食アンケートを行うことは検討しているか。
- 答** アンケート実施に向け課題等を調査研究していく。
- 問** 学校給食における伊奈町産の使用率は。
- 答** 令和4年度が22・9%、5年度が23・3%、6年度が16%であった。
- 問** 学校給食における埼玉県産の使用率は。
- 答** 令和6年度末の実績で、米と果物は100%、野菜は約11%であった。

伊奈町の学校給食における
主な食材の仕様(選定基準)について
◎伊奈町学校給食センター給食用物資納入仕様書より◎

品名	内容
白米	埼玉県産・伊奈町産
うどん	地粉うどん
中華めん	酸化防止剤を極力添加していないもの
野菜類	原則、国内産とする
醤油	国内製造、又は非遺伝子組み換え大豆使用
みそ	国内産、又は非遺伝子組み換え大豆使用
こんにやく類	着色料を使用していないもの
でんぷん	国産ばれいしょでんぷん
いももち	北海道産じゃがいも使用
豆腐	国産大豆使用

※国内生産農産物は非遺伝子組み換え

給食における食材の選定基準の一例

- 主食の比率は。
- 答** 米飯が65%、パンが23%、麺が12%である。
- 問** 主食の比率について、米飯の比率を上げる等、検討しているか。
- 答** 現状からの大きな変更は予定していない。
- 問** 学校給食における遺伝子組換え食品の使用については。
- 答** 遺伝子組換え食品は使用していない。
- 問** 給食センター給食用物資納入仕様書にも遺伝子組換え食品について使用しない旨を明記する考えはあるか。
- 答** 他自治体や先進事例を参考に研究する。
- 問** 給食の食器等の洗浄で使用する洗剤は。
- 答** 合成洗剤を使用。安全性については薬品残留確認のための検査を毎年実施している。



きまた みちよ
木俣 美千代 議員

- 問** 5歳児健診の実施は。
- 答** 小児科医や臨床心理士の確保が難しく実施ができない状況。国では、令和10年度までに実施を目指すとしており、町としても準備を進めたい。
- 問** 子どもの発達障害の相談窓口は。
- 答** 町教育委員会に設置されている。昨年度の問い合わせは46件、面談は36件である。
- 問** 成人してからの支援は。
- 答** 職業準備訓練に加



窓口対応の翻訳機

- え、金銭管理や健康管理などの相談。医療費など支援制度を説明し、就労や自立に向けた支援を行っている。
- 出生届をオンライン化**
- 問** オンライン化の見解は。
- 答** 他市町村の対応状況を鑑みながら検討する。
- 多文化共生社会をめざして**
- 問** 外国人の方へ郵送する封筒に英語表記の見解は。
- 答** 現在使用している封筒の更新時に、活用を推進していく。
- 問** 窓口での多言語対応は。
- 答** 複雑な手続きの説明をオンラインで通訳が対応する「オンラインビデオ通訳システム」や音声の翻訳機等を活用している。

安全な環境整備と自助を高める公助を



たかはし
高橋 まゆみ 議員

実現できる浸水対策を調査研究する。

火災

問 過去5年間の火災件数と初期消火についてはどうか。

答 合計51件のうち、消火器等による初期消火の成功事例は19件だ。

問 使用期限の切れた古い消火器による事故を防ぐための対策は。

答 消火器の処分方法をSNS等で発信する。

侵入犯罪 センサーライトや防犯カメラ等の購入についての補助金制度は。

答 引き続き研究を進める。

ごみ広域処理施設と周辺環境の整備 進捗状況はどうか。

答 (仮称)上尾伊奈ごみ広域処理施設に関する地域振興策協定」を締結した。

令和5年12月13日に、
柴中荻区民107名から伊奈町長と上尾市長に提出された
300件以上の要望内容の一部

入浴施設、プール、トレーニング施設、公園、スポーツ施設、
グランドゴルフ場、ウォーキングロード、体育館、飲食施設、
交差点改良、信号機設置、農産物直売所、ドッグラン、歩
道、道路新設、スーパー誘致、柴中を市街化区域に…など

伊奈町と上尾市で協議し、
案を作成⇒区の代表者と協議
決定

令和7年4月30日に締結した、
(仮称)上尾伊奈ごみ広域処理施設に関わる
地域振興策協定の内容

- ① 公園(災害時は災害廃棄物仮置き場)
- ② 体育館(バスケットコート1面程度)
- ③ 研修室(20～30人程度の収容)
- ④ 周辺道路整備(町道106号線の一部の拡幅工事)
- ⑤ 信号機の設置(要協議)

住民説明会では、以後、協定を締結し最終決定となる説明はされていない

不登校の要因を見据えた対策を



ごみ
五味 雅美 議員

問 不登校急増の背景に、過度な競争や教員の多忙など教育環境の悪化がある。教員の精神疾患による休業も増え続け、子供にも教師にも行きづらい学校になっている。文科省の支援は学びへの復帰ができる体制の充実を。

答 学校における業務改善を推進して教育環境を整える。

問 中心だ。学校が変わらなければならないという認識にたった対策が必要ではないか。

答 生徒を平和祈念式典に派遣し、また被爆体験者を招いた講演会など継承事業の考えは。

問 派遣は難しい。講演会は、他自治体の取り組みを研究する。

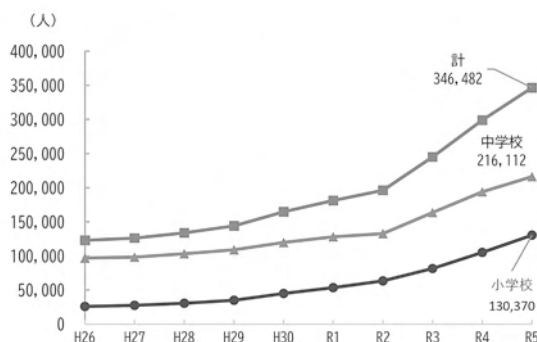
特定健診の通年実施を 健診率が50%前後で推移している。通年実施できないか。

答 受診率向上に効果はあるが、医師会委託事業なので、難しい。

国勢調査の体制は 町職員の負担は。

答 調査員は公募するが、足りないのが町職員が指導員、調査員併せて110名ほど務める。町職員は全て業務時間外に行う。

不登校児童生徒数の推移



(出典は文科省)日本の子供のいじめ、不登校、自殺の原因は過度な競争にあるとの国連の勧告を日本政府は無視し続けています

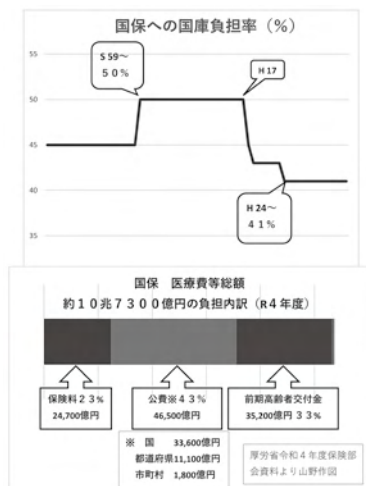
負担限度超過の国保税



やまの ともひこ
山野 智彦 議員

国保税負担増の原因

- 問** 国庫負担率は、昭和59年からの50%が現在41%だ。
- 答** 公費以外に国保を支えている前期高齢者交付金の負担者は誰か。
- 問** 健保組合等の被用者保険の被保険者と使用者である。
- 答** 国は無駄なばらまきを止め、国庫負担を50%に戻し、保険間の相互支援もシンプルに改めるべき。改善できるまで国保税引上げは中断すべきでは。
- 答** 政府、国会議員に



被用者保険の負担と比べて、国保被保険者は約半分の収入に対し2倍近い負担率の保険料を払っている。かつ県統一基準に向けてさらに負担が上がっていく予定である

- 要望活動を行っていく。
- 子ども予防接種の通知**
- 問** 就学期以降の接種の案内方法は、
- 答** 生後2か月前に、1冊の予診票としてまとめて送付している。
- 問** 就学以降にも接種案内を出すべきでは。
- 答** 改善し、本年7月頃から案内を行う。
- 対話的授業への疑問**
- 問** 生徒間の主体的、対話的授業を進める文科省方針は疑問だが。
- 答** 知識を土台としてつづき合いを行う一つの手法である。
- 問** 対話・学び合いに偏った授業への対応は、
- 答** 教授とのバランスを指導支援していく。
- 生涯学習の拡充**
- 問** 人生を豊かにする学びの機会の拡充を。
- 答** 機会拡充に取り組んでいく。



第27回 新庁舎建設特別委員会

6月10日



ウニクス伊奈での基本設計説明会の様子

執行部から、進捗状況、全体スケジュール報告、基本設計の説明、5月14日と18日のべ3回開催された町民向け基本設計説明会についての報告がありました。

進捗状況など報告

遅延なく進捗していることが確認できました。

庁舎の基本設計の説明

「自然と町民活動」「図書館と庁舎」を結ぶ新たな拠点

点がコンセプト。

具体的には、庁舎内待合スペース「ウチニワ」、多目的スペース「伊奈ギャラリ」と敷地内の広場「ソトニワ」、また新田前公園が連携し大きなイベントも開催できるとのことでした。

質疑応答

問 議場はフラット床になっているが、災害時は住民を受け入れるのか。

答 一時避難場所だが、指定避難所ではない。

被災時の庁舎の役割は、災害対策本部と避難物資の物流拠点である。

町民向け基本計画説明会での主な質疑応答内容

町民 工事中の近隣への振動などの影響はどうか。

町 多少の音や振動は発生するが、常に状況を確認し、抑えるよう努める。

令和8年2月頃から半年間が最も影響が大きい期間と考えている。

町民 地元企業を活用してもらえるか。

町 施工者の地域貢献提案もあり活用を進める。

会派による政務活動報告

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で他の自治体の取り組みを視察調査しています。

首都圏初の家庭ごみによるバイオガス化施設

視察日 令和7年4月18日

視察地 東京都町田市
会 派 日本共産党、颯政会、清風クラブ、改新みらい

現在、町と上尾市で進めている広域ごみ処理施設に導入が検討されている乾式メタン発酵施設が採用されている「町田市バイオエネルギーセンター」を上尾市議会の有志の会派とともに視察しました。

当施設は、熱回収施設である焼却施設と、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設で構成されており、ごみの減量と資源化を最大限に図れる構造となっております。

バイオガス化施設では、乾式メタン発酵という方法で、微生物の働きにより生ごみを分



▶ 乾式高温メタン発酵のバイオガス化施設



▶ 楽しみながら学べる見学ルート

また、当施設は、子どもも大人も楽しみながら、ごみ処理やバイオガス発電について学べる場所となっております。見学ルートには興味を惹く仕掛けが散りばめられておりました。

ようこそ！ さいたま市議会



5月7日にさいたま市議会から立憲民主・無所属の会さいたま市議団（4名）が農業戦略マスタープランと伊奈町産米応援プロジェクトについて視察・研修のため来庁しました。議会からは、佐藤議長と事務局が参加しました。

白岡市に見舞金を贈呈しました

5月6日に発生した白岡市役所庁舎の火災により、被害を受けた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

甚大な被害のあった白岡市に対し、一日も早い復旧の一助としてもらうため、伊奈町議会全議員で10万円のお見舞金を贈呈致しました。



左から、白岡市議会の遠藤副議長、大島議長、白岡市の椎木副市长、伊奈町議会の上野議長、青木副議長（6月19日贈呈）

表紙写真募集

あなたの撮影したお写真が

伊奈町議会だよりの表紙に！

募集内容

伊奈町内で撮影された写真、もしくは伊奈町に関連する写真。写真は、行事・風景・その他季節に合うものを募集します。

応募資格

伊奈町在住、在勤または在学の方

応募規定

おおむね2年以内に撮影された未発表の写真で、1回につき2枚まで応募できます。

※人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けてください。

応募期間

いつでも募集しております。

応募内容

☆ネットでの応募：町議会ウェブサイトまたは、伊奈町電子申請・届出サービスから「伊奈町議会だより 写真公募」を選択し、必要事項の入力と写真を添付のうえご応募ください。

☆持参・郵送での応募：応募用紙に必要事項を記入し、議会事務局へ郵送又は持参にてご応募ください。

※応募用紙は、町議会ウェブサイト又は議会事務局にて配布しています。

※応募規定など詳しくは、町議会ウェブサイトでご確認ください。



▲表紙写真の応募フォームの二次元コード



議会報告会を開催します！

開催日 11月15日(土曜日)
時 間 午前10時～12時
場 所 町役場3階全員協議会室 ほか

Welcome!

町民のみなさまの
ご参加を心よりお待ちしております！

※具体的な内容については、次回
11月発行予定の議会だより209
号でお知らせいたします。

主催：伊奈町議会
お問合せ：伊奈町議会事務局
電話番号：048(721)2111 (代)



～次回定例会～

9月2日(火)
開会予定です



傍聴は簡単です！
ご覧になりたい議会がある日に議会事務局へお越しいただき、簡単な手続きで傍聴ができます。予約はいりません。
日程や詳細は、伊奈町議会のウェブサイトをご覧ください。
また、インターネットでも中継や録画をご視聴いただけます。

議会を傍聴してみませんか



(ネット中継)

議会クイズ

クロスワードクイズ
第61弾です。

1	A	D	5	7	
	B		6	E	G
2		3		8	9
4			10		C
			11		

- タテのカギ
- 水たまりに生まれる蚊の幼虫
 - 管楽器の総称
 - 地方〇〇、住民〇〇
 - 熱したコテやペンで描く絵
 - 〇〇〇運用（お金の運用）
 - 寝床に非常用の1足を置きましよう
 - 〇〇のカギ
 - 太陽圏を超えて飛行中の無人探査機
 - ハワイの歌舞音楽、
- ヨコのカギ
- 〇〇ダンス
 - 整理棚
 - 知人、親友
 - 伝統芸能の絵を描く職人さん
 - 蛇口や配管の中の水漏れ防止製品
- 問題
- ABCDEF Gの順に並べた言葉は何でしょうか。答えのヒント
- いつ何があるか分かりません。1人1人がこれを高めましよう

応募方法

★はがきに答え、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、

〒362-8517

伊奈町中央四丁目355番地

議会広報委員会

までお送りいただくか、

二次元コード

（伊奈町電子

申請・届出サ

ービス）↓「議会クイズ」

からご応募ください。

なお、本誌へのご意見や感想などありましたら、あわせてお寄せください。

☆締切 8月31日（当

前回の答えと当選者

答え「のうちしゅうやく」

応募総数 47名

正解者 46名

当選者（207号）

— 順不同・敬称略 —

大木陽子（西小針）・鈴木貴子（小室）・こじまともや（栄）・木村武志（本町）・伊東由起子（西小針）・梅田悠吾（小室）

日消印まで有効）

正解者の中から抽選で10名の方にトートバッグを差し上げます。

☆正解と当選者の発表は次号の議会だよりに掲載します。



▲ローズちゃんローズくんの「トートバッグ」※色は選べません

答え（例）A B C D E F G
郵便番号・住所
氏名・年齢
電話番号
ご意見・感想など（あれば）

（うら）

伊奈町中央四丁目355番地
議会広報委員会 行
切手 85円

（おもて）

依田朋子（小室）・渡辺眞雄（羽貫）・林山充（西小針）・稲橋さつき（寿）

読者の声

— 一部掲載 —

◇令和7年度の歳入と歳出の項目と一般質問を知ることができよかったと思いました。

（60代）

◇議会クイズ毎回解いてますが応募は初めてです。トートバッグがかわいいですね。

（10代）

◇議会でのような事が話しかかれているのが分かり、とても興味があります。

（70代）

◇4月から高校生になりました。今の私が尊敬しているようなしつかりとした大人になれるよう努力できればと思っています。

（10代）

◇ローズくんローズちゃんとってもいいですね。

（40代）

◇伊奈町に家を建てて3年目、街灯の少なさや災害時の危機感の薄

編集後記

今議会では議会構成が変わり、広報委員会も変更がありました。これから新メンバーでよろしく願います。

広報委員会の任務は議会の広報活動ですが、議会毎に行っている「議会だより」の発行はその中心です。

「議会だより」は全国の議会が発行しています。原稿から全てを議会事務局が作っていたときもあつたようですが、伊奈町議会では現在一般質問や討論などの原稿や写真は全議

さが気になります。今後議会では伊奈町が良い方向に進む事を願います。

（30代）

◇今年も素敵なバラを鑑賞させていただきました。

（60代）

◇毎回頭を使うクロスワード楽しみにしております。

（30代）



- 議会広報委員会
- 委員長 高橋まゆみ
- 副委員長 富井 篤弥
- 委員 五味 雅美
- 委員 藤原 義春
- 委員 栗原 恵子
- 委員 山野 智彦
- 委員 木俣美千代
- 委員 川内 雅人
- 委員 仲島 雄大

員、当事者が自分で書き、広報委員会が校正、編集して仕上げています。また全国の議会と交流して、先進事例に学びながら研鑽・研修を重ねています。

今後工夫を重ねて参ります。（五味雅美）

UD FONT

読みやすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用しています。

★議会だよりは再生紙を使用しています。

VEGETABLE OIL INK

植物油インキを使用しています。



（伊奈町議会だより）もマチイロで配信